

輝く！紀の国の教育

特集

紀州っ子の 体力向上に向けた取り組み

「和歌山・海プロジェクト」
ヨット体験会でヨット操作を楽しむ
有田市立港小学校の児童たち
【和歌山セーリングセンター】



全国高等学校総合体育大会(インターハイ)
ヨット競技は、平成36年度まで
和歌山セーリングセンターで開催します！

全国的に子供の体力の低下が課題となり、和歌山県でも本格的な取り組みを10年前にスタートしました。

本年度は、幼少期から“運動好き”な子供を育成することや、特に中学・高校生の女子の運動離れをくいとめることをめざし、関係機関と連携・協力した取り組みを進めています。

今回は、これらの取り組みを通じて向上してきた紀州っ子の体力の現状と更なる体力アップに向けた取り組みを紹介します。



駒野選手(サッカー元日本代表選手)と
ボールを使った鬼ごっこを楽しむ児童たち
【和歌山市立野崎西小学校】

特集

紀州っ子の 体力向上に向けた取り組み

今年度、和歌山県では、夏の「全国高等学校総合体育大会（インターハイ）」や秋の「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」といった、スポーツに関するビッグイベントが各地で開催されました。皆さんも、スポーツに触れる機会が今まで以上に多い1年ではなかったでしょうか。

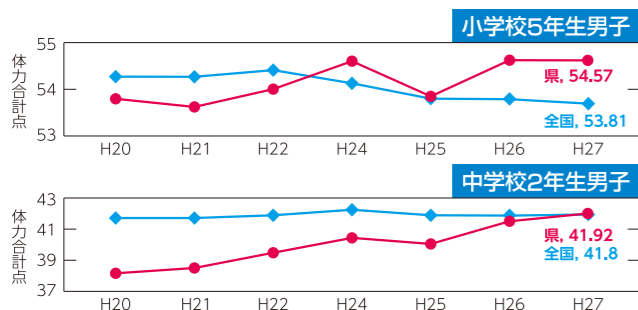
スポーツには、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方がありますが、皆さんも様々な関わり方でスポーツの素晴らしさを感じたことと思います。これからも、スポーツ（運動）と積極的に関わって、明るく、元気いっぱいな生活を送っていきましょう。

小学生は4年連続、中学生は初めて男女とも全国平均を上回る！

和歌山県の子供たちの体力は、全国調査が始まった平成20年度には、小学校5年生、中学校2年生の男女ともに全国平均を下回っており、特に中学生では全国平均との差が大きい状況でした。しかし、体力向上に向けた様々な取り組みを各学校で継続することで、体力が着実に向上し、小学生では4年連続全国平均を上回り、中学生では今年度初めて全国平均を上回りました。このことは、スポーツ庁の全国体力調査報告書や、ニュース等でも取り上げられるなど全国的にも注目を浴びました。

体力合計点※の推移(H20～)

※体力合計点…8種目(握力・上体おこし・長座体前屈・反復横とび・シャトルラン(持久走)・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げ。1種目10点満点)の合計点



※平成23年度は未実施

小学生は、ほとんどの実施種目で全国平均を上回る！ 中学生は、持久走・立ち幅とびに課題！

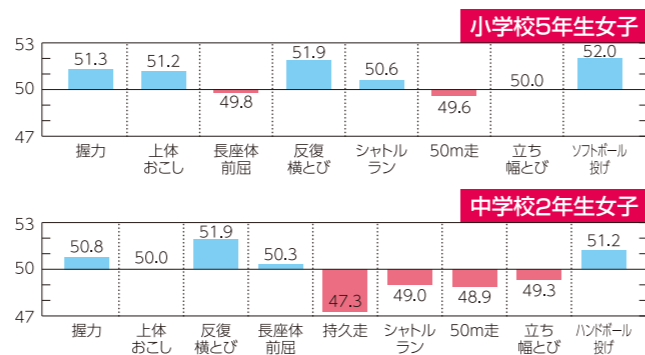
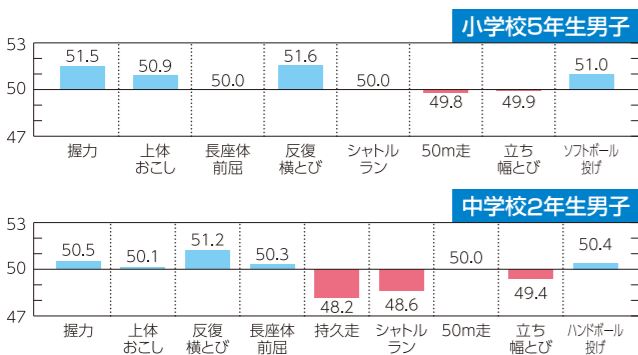
小学生では男女とも3種目(握力・反復横とび・ソフトボール投げ)、中学生では男女とも反復横とびで、それぞれ全国平均を1ポイント以上上回っています。

一方で、小学生では男女ともに50m走、中学生で持久走、シャトルラン、立ち幅とびが全国平均を下回っています。

走ったり、跳んだりする動きを日ごろのスポーツ(運動)に取り入れてみてください。

実施種目別Tスコア※との比較

※Tスコア…全国平均値に対する相対的な位置を得点化したもの(50=全国平均)



各種の取り組み

県教育委員会では、紀州っ子の体力向上をめざして、次のような取り組みを進めています。

チャレンジランキング

「きのくにチャレンジランキング」は、長なわとびや馬とび(団体部門)、短なわとび(個人部門)など全16種目の運動に取り組んだ結果をホームページに登録し、県内でのランキングを競い合うものです。

今年度は、小学校で143校、のべ90,687人の参加がありました。中学生部門も4種目ありますので、みんなで、仲間と一緒にチャレンジしましょう！



きのくにチャレンジランキングホームページ
(<http://www.kinokuni-challenge.com/index.php>)

紀州っ子かがやきエクササイズ&ダンス

平成25年度に制作した本県オリジナルのエクササイズとダンスです。

今年度は、小学生用エクササイズに取り組んだ学校が170校、中学・高校生用ダンスに取り組んだ学校が113校ありました。エクササイズやダンスに夢中に取り組むことで、楽しみながら体力の向上が図れると好評です。



また、「紀州っ子かがやきダンス」を学習したあとは、学んだステップやオリジナル曲を活用して「創作ダンス」へと発展が可能です。発展方法を紹介したDVDも全ての中学校・高等学校に配付していますので、積極的に活用してください。

「和歌山・海プロジェクト」ヨット体験会

今年度、本県で開催した全国高等学校総合体育大会ヨット競技が平成36年度まで、今後10年間にわたり和歌山セーリングセンターで開催されることから、ヨット体験会を実施しています。

今年度は、小・中学校7校が和歌山セーリングセンターの海上で、ヨット体験を行いました。また、ヨットを学校へ運び、学校のプールを活用してヨット体験をした学校もあります。

参加した児童生徒からは、「自然の風だけを利用して、ヨットを思う方向に進めるのがすごく楽しい!」「またヨットに乗りたい!」などの感想が出されました。

平成28年度も4月に学校単位で体験校を募集し、実施する予定です。



印南町立切目中学校で指導された野村 豊和 氏(左)、天翔 りいら 氏(右)

「ほんまもん体験」をはじめとした体力・授業力アップモデル校の取り組み

今年度は6校1園をモデル校として、子供たちの体力向上に向けた様々な取り組みを進めています。

「ほんまもん体験」は、オリンピック等に出場経験があるトップアスリートをモデル校にお招きし、トップを極めたプレーを見せてもらったり、実際に指導してもらったりする取り組みです。

今年度は、野村豊和氏(柔道家、ミュンヘンオリンピック金メダリスト)、天翔りいら氏(元宝塚歌劇団)、田中光氏(元体操選手、アトランタオリンピック出場)、駒野友一氏(Jリーグ選手、元サッカー日本代表)が各モデル校を訪れました。

子供たちからは、「トップレベルのプレーや演技を近くで見ることができ、感激した!」「マット運動を教えてもらって、うまく回れるようになった!」などの声がかれました。

また、体育の授業に専門講師を招いて指導を仰いだり、授業研究会を開催するなど、教員の授業力アップを図る取り組みも進めています。

指導者研修会の実施

運動好きな紀州っ子の育成に向けた指導技術を磨くため、幼稚園や保育所、小学校の教員や中学校・高等学校の体育科の教員を対象とした、実技を通した様々な研修会を開いています。



幼児期・小学校低学年運動遊び指導者研修会



中学校体育学習研修会(ダンス)



武道指導者養成講習会(柔道)

文化面でも 大きな出来事が 目白押し!

今年度、和歌山県では、スポーツ面で大きなイベントが目白押しでしたが、文化面でも大きな出来事がありました。

「新宮の速玉祭・御燈祭り」が国指定重要無形民俗文化財に!

平成28年1月15日、国の文化審議会は、世界遺産・熊野速玉大社の祭礼「速玉祭」と神倉神社の祭礼「御燈祭り」を、国の重要無形民俗文化財に指定するよう、文部科学大臣に答申しました。

正式な指定は3月上旬に行われる予定で、これにより県内の国指定重要無形民俗文化財は7件となります。

このうち「速玉祭」は、毎年10月15日・16日に行われ、熊野速玉大社の神様が、15日には神馬、16日には船に乗り、新宮市内の大社ゆかりの聖地を巡ります。

また「御燈祭り」は、毎年2月6日に白い衣裳を着た「上がり子」たちが、それぞれ願いを込めた松明に神倉神社の御神火をともして、神倉山の急な石段を一気に駆け下る神事です。

2つの祭りは「熊野速玉大社祭事保存会」によって保存・継承されています。



速玉祭(御船祭)の一場面



御燈祭り

「南方曼陀羅の風景地」が国名勝に指定!

植物学・民俗学・博物学の分野で世界的に著名な南方熊楠(1867~1941)は、近代日本の風景の保護に先駆的な役割を果たしました。南方熊楠は、自然生態系の保護の重要性を主張し、明治政府の神社社祀政策への反対運動に取り組む中で、特有の天然風景の中にある様々な現象を、真言密教の本質を示す「曼陀羅」になぞらえ、多様な生態系に基づく風景美の発見に新たな視点をもたらしました。

「南方曼陀羅の風景地」は南方熊楠が将来に遺すべきとした神社境内の林や、島・海浜等の景勝地から成り、観賞上及び学術上の価値が高いものです。そのうち、今回は天神崎や神島など13地点が国名勝に指定されました。



神島(田辺市)



旧和歌山県会議事堂

旧和歌山県会議事堂の保存整備工事が3月末完成します

明治31年(1898)に完成した旧和歌山県会議事堂は、木造和風の県会議事堂として最も古い建造物であり、県政史にとって重要な文化財です。県は、旧議事堂を建築当初の姿に戻し、移築する工事を平成24年度から岩出市で行ってきました。工事では日本の伝統的な技法を用い、古い材木を補修して再使用し、壁も土を塗り重ねて乾燥させ、漆喰で修復しました。完成した旧県会議事堂をぜひ、ご覧ください。

エルトゥール号遭難事件がきっかけに生まれた 日本とトルコ両国の絆が映画化されました!

平成27年12月から、全国の映画館で『海難1890』が上映されています。この映画では、1890年、トルコ軍艦「エルトゥール号」が和歌山県樫野崎で暴風雨に巻き込まれ座礁沈没した際、大島村(現串本町)の住民たちが自らの危険を顧みず、生存者の救助に当たり、69名の命を救った出来事、そして、時は流れ1985年、イラン・イラク戦争でテヘラン

に取り残されていた日本人をトルコが航空機で救出した出来事をもとに、現代まで受け継がれている日本とトルコ両国の絆が描かれています。

また、この映画は、文部科学省選定映画(教育上価値が高く、学校教育又は社会教育に広く利用されることが適当と認められるもの)・和歌山県教育委員会推薦映画に選定されています。

『海難1890』の鑑賞を通して、ふるさとの先人の偉業と紀州人の真心を心にとどめてほしいと願っています。

きのくに 教育めぐり 教育長挨拶



今回は **みなべ町**



みなべ町は、紀伊半島南部に位置し、青く輝く太平洋に面し、一目百万、香り十里といわれる梅の里です。

日本でも有数のアカウミガメの上陸数をほこる「千里の浜」には、君が代にうたわれる「さざれ石」が見られ、熊野古道の中で唯一海岸を通るルートとなっています。

また、昨年世界農業遺産に登録された「みなべ・田辺の梅システム」は、自然を人間の手でコントロールするのではなく、敬意と感謝の心で守り育ててきた、先人

たちのたゆまない努力が世界的に認められ、本町にとっても次世代へ受け継ぐべき輝く指針となっています。

みなべ町では、「未来」を創造するたくましい子供の育成を目標に、確かな学力の定着のみならず、故郷に誇りを持ち、人の気持ちに寄り添うことのできる健康な心と体を鍛えるため、学校・地域社会・保護者・教育委員会が共に同じ方向を見据え、一体となった取り組みを進めています。

みなべ町教育委員会 教育長 豊田 泰猛

地域に守られて

～つれもて行こう～ 通学合宿の取り組み

通学合宿とは、子供たちが公民館などで寝泊りし、普段は保護者に頼りがちな炊事や洗濯などを自分たちで行いながら学校へ通うという取り組みです。

みなべ町では、平成19年から全ての小学校区で開催しています。

この事業は、共同生活を行うことで集団生活への適応能力や自主性、自立心、仲間意識を育てることを目的としていますが、もう一つの大きな目的が、地域の方々との交流です。

子供たちは、調理の指導、買い出しやお風呂の送り迎えなど、地域の“おじさん”や“おばさん”たちのサポートを得ながら2泊3日を過ごします。

普段あまり会話を交わす機会が無いであろう“おじさん”や“おばさん”たちと生活を共にすることで、地域社会とのつながりが深まります。

近い将来、子供たちは地域社会の担い手となります。通学合宿で育まれた、ふるさとの愛着と、互いの協調性や社会性を存分に活かしてくれるよう、願って止みません。



みなべの梅学習



みなべ町立岩代小学校では、地域の協力を得て、梅に関する調べ学習や、児童全員で「しそ漬け梅干し」を作る体験を含めた学習に取り組んでいます。

活動は1年生から6年生まで全児童縦割り班で行い、梅拾い、塩漬け、天日干し、樽詰め、塩抜き、しそ漬け、ラベル作り、カップ詰め等の作業を、保護者や地域のゲストティーチャーの協力を得ながら行っています。

最後の活動では、自分たちで作った「しそ漬け梅干し」で梅おにぎりを作り、味わうことを通して、完成した喜びをみんなで共有しています。

できあがった梅干しは、東日本大震災被災地の宮城県東松島市立宮戸小学校・宮城県亶理郡亶理町立高屋小学校や宮城県気仙沼市の仮設住宅へ寄贈しています。

また、新潟県南魚沼市立第二上田小学校と「お米と梅干し」での交流活動も始めました。

こうした体験活動、交流活動を通じ、コミュニケーション能力や表現力の育成を図るとともに、地域の産業や文化を知り、地域の良さを再確認し、郷土を誇りに思う児童を育てる学習に取り組んでいます。



ン能力や表現力の育成を図るとともに、地域の産業や文化を知り、地域の良さを再確認し、郷土を誇りに思う児童を育てる学習に取り組んでいます。

共育コミュニティ 学校・家庭・地域の様々な立場の人が、子供たちの豊かな育ちを支え、同時に大人同士も育ち合う取り組みです。

今回は、紀の川市での共育コミュニティづくりを紹介します。

紀の川市の地域共育コミュニティ事業は平成20年に桃山地域でスタートしました。地域共育コミュニティ事業を、学校と地域をつなぐ最も有効な手段と捉え、平成28年度から全市的な取り組みができるよう、準備を進めています。今回は、桃山地域の取り組みを紹介しします。

大人と子供がつながって

紀の川市桃山地域共育コミュニティ連絡協議会では、地域の子供を学校・家庭・地域で育てていくために必要な情報交換をしたり、お互いが子供のために何ができるかを話し合うなど、共通認識のもとで活動していく場としています。主な活動は、学校支援ボランティアとの交流会です。ここ数年で活動が定着し、学校と地域の信頼関係が深くなってきたことを実感しています。



子供とのふれあいを生きがいに、技術を磨く読み聞かせボランティア



職業体験をきっかけに、卒業後も子供と繋がっているパン屋さん



老人会・子供・保護者・ボランティア・先生と一緒にグラウンドゴルフで交流



効率よく授業ができるよう事前準備や工夫してくれるミシンボランティア

「行ってよかった!」「来てもらってよかった!」

「地域の子供は地域で育てよう!」を合言葉に、活動しています。はじめは緊張していた子供たちも、今では学校支援ボランティアに、「ありがとう。次いつ来てくれるの?」と声をかけ、楽しみに待っているようです。学校の先生からも、「子供たち一人一人に目が行き届いて、助かっています。次もお願いします。」と声をかけて頂いています。

コーディネーターのこれから 桃山地域共育コミュニティ本部 コーディネーター **津田好子**

私が、共育コーディネーターを始めた時から大切にしている思いは、
・学校にとって負担にならないこと
・ボランティアさんにやりがいを感じてもらうこと
この2つです。

「ボランティアに行ってよかった!」「ボランティアに来てもらってよかった!」この言葉をたくさんもらえるように、コーディネーターとしての資質を磨きたいと思います。今までのつながりをさらに強くし、息の長い取り組みにできればと思っています。



スポーツで地域を元気に!

住民の住民による住民のための「総合型地域スポーツクラブ」をめざして

第10期 日高総合型クラブ(日高町)

問い合わせ先:
日高総合型クラブ事務局
090-9863-7777

私たち日高総合型クラブは、日高中学校区を中心に「いつでも どこでも だれでも いつまでも」楽しめるスポーツクラブをめざし、平成25年2月に設立しました。現在、スポーツ教室は、ボクシング・ヨガ・スポーツ吹矢・太極拳・ノルディックウォーキング・筋力アップ・空手道・ラジオ体操の8種目、カルチャー教室は、書道・そろばん・英会話など5種類があり、約150名の会員が活動しています。

昨年の紀の国わかやま国体では、デモン

ストレーションスポーツの太極拳とスポーツ吹矢に参加したクラブ会員が、優勝や準優勝に輝くなどの活躍がありました。今後も、より一層地域のニーズに応えられるよう、活動を続けていきます。



展示イベント

いずれも、休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)、入館料は高校生以下は無料です。
※詳しくは各館のホームページをご覧ください。

県立近代美術館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690

『宇佐美圭司回顧展』

会期 3月1日(火)~4月17日(日)



「山々は難破した船に似てNo.2」宇佐美圭司

和歌山市で少年時代を過ごした宇佐美圭司(1940~2012)は、人体を記号化した絵画で注目を集めました。没後3年を機に、最晩年の作品を含めて、その画業を一望します。

県立紀伊風土記の丘 和歌山市若橋1411 ☎073-471-6123

春期企画展『古墳出現期の紀伊国(きのくに)』

会期 3月15日(火)~6月12日(日)



秋月遺跡や井辺遺跡でみつかった古墳時代前期の小型墳や出土土器から紀伊地域における古墳時代のはじまりについて紹介します。

県立図書館 和歌山市西高松1-7-38 ☎073-436-9500

中高生読書まつり ~ビブリオバトルとPOPコンクール~

平成27年12月13日に「中高生読書まつりービブリオバトル和歌山大会決勝・ビブリオバトル及びPOPコンクール表彰式」を県立図書館メディア・アート・ホールで開催しました。ビブリオバトルとは、おすすめ本の紹介を競う書評合戦です。決勝戦では、地域大会・県予選から選ばれた中高生12名による熱戦が繰り広げられました。高校生の部チャンプ本紹介者の白水紀香さん(耐久高校)は、県代表として全国高等学校ビブリオバトル決勝大会に出場しました。POPコンクールでは、応募作品447点から入賞10点、佳作40点を決定しました。入賞作品は図書館ホームページに掲載しています。次回の「中高生読書まつり」にも、生徒の皆さん、奮ってご参加ください(詳しくは7月頃に広報します)。



ビブリオバトル大会



POP入賞者が作品紹介

県立博物館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670

『海の国・わかやま』

会期 3月12日(土)~4月17日(日)



紀州熊野浦捕鯨図屏風 和歌山県立博物館蔵

海に囲まれた紀伊半島では、海と深い関わりの中で人々は暮らしてきました。海岸沿いの村・町の風景や、漁業や海運などの暮らし、さらには水軍などに関わる資料を中心に、海を舞台にたくましく生きてきた人々の営みについて紹介します。

県立自然博物館 海南市船尾370-1 ☎073-483-1777

きのくに野外博物館『磯の生物観察会』

開催日 4月24日(日) 場所 御坊市名田海岸 定員 60名



海と陸の間に広がる豊かな生物の世界を観察しませんか?

※事前申し込み(3月12日(土)~4月10日(日))が必要です。詳しくは自然博物館(073-483-1777)までお問い合わせください。

平成27年12月23日、国連総会本会議で、毎年11月5日が**世界津波の日**として制定されました。



嘉永7年(安政元年)11月5日(1854年12月24日)の安政南海地震で和歌山県を津波が襲った際、稲の束に火を付けて村人たちを高台に避難させて命を救った「稲むらの火」の逸話にちなみ、11月5日は「津波防災の日」として「津波対策の推進に関する法律」

(平成23年6月24日施行)により定められています。そして、平成27年12月23日、国連総会本会議で「世界津波の日」として制定されました。

津波避難3原則 (群馬大学大学院教授 片田敏孝氏 提唱)

- ①想定にとらわれない ②最善を尽くせ ③率先避難者になれ

交通ルール・マナーを守って安全に運転しましょう!

こんなことにも気をつけよう!



平成27年6月1日から、危険行為を繰り返した自転車運転者に対して、「自転車運転者講習」の受講が義務化されました。また、自転車が加害者となる事故が多数発生しており、高額な賠償金が請求される場合もあります。被害者はもちろん、加害者とならないためにも、交通ルール・マナーを守り、安全運転を心がけましょう。

「自転車安全運転街頭指導」実施中!

- 対象 県立の中学生及び高校生
- 実施日 毎月1日・15日
- 重点目標
 - ・イヤホン等を使用しながらの運転禁止
 - ・並進の禁止
 - ・傘さし運転の禁止



警察と連携して指導



教育長
工 ツ セ イ
教育長 宮下 和己

「ふるさと和歌山」

平成27年は、本県にとって大きな行事やニュースで彩られた一年でした。

「全国高等学校総合体育大会」、「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」、「高野山開創1200年」、「みなべ田辺の梅システム」の世界農業遺産の認定、「稲むらの火」の逸話にちなんで「世界津波の日」が国連で制定、串本沖で座礁したトルコ軍艦エルトゥールル号の乗組員を地元住民が

懸命に救助した史実をもとにした日本とトルコの合作映画「海難1890」の上映等々、和歌山県から発信する出来事の連続でした。なお、エルトゥールル号の出来事は、文部科学省及び本県の道徳教育教材に掲載されており、文部科学省は映画「海難1890」を選定映画としたうえで、「心の絆は、国や世代をこえて」のメッセージを添えてタイアップしました。また、県教育委員会は推薦映画とし、県内高校生の全員鑑賞と、全国都道府県教育委員会に対しても薦めました。

「ふるさと和歌山」は、このような先人たちの偉業をはじめ、文化や歴史、雄大な自然など、数え切れない多くの素晴らしい財産があります。県教育委員会では、ふるさとへの愛着を高め郷土を誇りに思う心情

や態度を育成するため、これまでも様々な取り組みを進めてきました。その一つに平成22年、ふるさと教育読本「わかやま何でも帳」を作成しました。このたび内容、資料等の更新を6年ぶりに行い、改訂版を発刊することにいたしました。今回は県内の中学校の生徒一人一人に、また、小学校や高等学校、特別支援学校にも各校ごとに配付いたします。一般販売も予定しており、大人にも十分ご満足いただける内容となっています。高校生にはこれを元にして「ふるさと和歌山」を語ってほしい、和歌山で育ったことに誇りと自信をもって、未来を切り拓いていくことを期待しています。

ふるさとを思う心は、「元気な和歌山」を創造し、地方創生の基盤となるものと確信しています。

和歌山県修学奨励金(奨学金)貸与者募集

◆和歌山県では、経済的な理由により高等学校等(高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校、特別支援学校高等部、専修学校の高等課程)での修学が困難な者に対して、その修学に要する経費の一部を貸与する制度を実施しています。

募集期間 平成28年4月11日(月)～平成28年5月31日(火)

対象者 (次のすべてに該当する者)

- ①高等学校等に在学していること
 - ②本人の生計を主として維持する者が、県内に住所を有していること
 - ③世帯全員の収入年額が県規則の貸与基準額以下であること
 - ④日本学生支援機構の学資金、母子父子寡婦福祉資金貸付金の修学資金、和歌山県高等学校定時制及び通信制課程修学奨励金並びに生活福祉資金貸付金の教育支援費(いずれも月額貸与)の貸与を受けていないこと
- ※県外の高等学校等に通われていても、上記に該当する場合は貸与できます。

貸与月額(無利子)

	国公立	私立
自宅通学	18,000円	30,000円
自宅外通学	23,000円	35,000円

貸与時期(予定)

1回目(4～7月分)	2回目(8～11月分)	3回目(12～3月分)
7月中旬以降	11月末日	3月末日

返 還

貸与期間終了後10年以内
※納期限内に納入がない場合は、年率10.95%の延滞金が加算されます。



問い合わせ

県内の高等学校等の奨学金事務担当者、
又は和歌山県教育庁生涯学習局生涯学習課奨学班(☎073-441-3728又は3663)

ホームページにも制度の概要を掲載しています。

和歌山県修学奨励金

検索

教育テレビ番組 はばたく紀の国 ～教育は今～

放送日時 平成28年10月～平成29年3月
第1・3日曜日午前10時30分～10時50分

来年度も、学校や地域の特色ある活動や新しい取り組みなどを紹介します。番組のプログラム等、詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせします。お楽しみに!



今年度、放送を予定している番組は、以下のとおりです。

- 3/6 ● 和歌山・海プロジェクト(ヨット体験会)～紀州っ子体力アップに向けた取り組み～
 - 3/20 ● 和歌山の子どもに確かな学力を!～和歌山県学力向上対策中期計画の実行～
- ※すべての番組に手話通訳がつけます。※番組内容、放送時間は都合により変更する場合があります。

※テレビ・ラジオとも、これまで放送した番組については、和歌山県教育委員会のホームページで公開しています。ぜひ、ご視聴ください。

教育広報 ラジオ放送 定期便 教育の窓

放送日時 4月から2月までの毎月第2、第4土曜日 8:45～9:00

(ただし、4月の第2週、7月の第4週、12月の第4週、1月の第2週を除く。)

来年度も、学校や地域の特色ある取り組みなどを取り上げながら番組を制作し、放送しますので、ぜひお聞きください。

和歌山県教育委員会事務局 総務課

〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番地
TEL.073(441)3641 FAX.073(432)4517

和歌山県教育委員会では、今回紹介した内容以外にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、和歌山県教育委員会のホームページをご覧ください。また、皆さまのご意見・ご要望をお待ちしています。

和歌山県教育委員会

検索